

茂野冬之輔

じゅうすけ

俳人。明治十九年五月、一十八日東京生れ、昭和二十

年二月一日歿（一八六一—九四五）。本名吉之助。前號東紅、冬江、凍江。

明治二十九年東京高等商業學校卒。吉河鑄業入社、昭和五年退社後は日本神鋼専務取締役、昭和石灰株式會社常務取締役、河瀬支行石灰聯盟理事等歴任。この間大正五年肺結核發病、爾來結核豫防對策調查委員、回復者團體復十字會會長を務めなど結核理解の運動に從事。併句は「青木月斗生平誌 同人」に據り、また同病正圖子規を研究、昭和九年には田端の大龍寺に墓誌銘碑を建立した。

著書『肺病小直面』（大正十一年十一月十八日新潮社「結核被明文庫」）、『結核征狀』（大正十二年十一月十五日新潮社「結核叢明文庫」）、『サナトリアム六講』（昭和十七年一月六日新潮社「結核黎明文庫」）、「サナトリアム六講」（昭和十九年一月五日新潮社）、『野隨放子規居士』（鈴木鶴衣編、昭和二十一年二月一日同人社。別題『子規居士研究』茂野吉之助伝刊行会）等。田辺一雄編『茂野吉之助』（昭和二十一年二月一日茂野吉之助伝刊行会）刊。

